



「こまえ平和フェスタ2018」成功裏に終わる

2018年8月12日(日) 午後1時～4時 @ 狛江エコルマホール

「こまえ平和フェスタ」は、当会が 2003 年に始めた「市民発・平和フェスタ」を起源に、同じ思いの市民が狛江市に共催を申し入れることにより 2005 年から実現した催しです。それ以来、各分野の市民でつくったフェスタ実行委員会に、当会の世話人も数名が加わり、共に準備を進めてきています。

2018年8月12日(日)、狛江エコルマホールにて開催された「こまえ平和フェスタ2018」には、約360名の方が参加し、55名の出演者で舞台企画が取り組まれ、また、ホワイエでは多くの市民参加による充実した展示等が行なわれました。

今年のテーマは「平和な未来を子どもたちへ」です。昨年、国連では核兵器禁止条約の

交渉会議が開かれ、核兵器を非人道的兵器＝絶対悪として禁止する条約が7月7日に国連加盟国の3分の2の賛成で可決・成立しました。「狛江市平和都市宣言」を掲げた狛江市民として、核兵器を廃絶し、戦争のない地球に向かって「微力だけど無力じゃない」(高校生平和大使の言葉)努力を積み重ねていきたいと思います。

今年も昨年につき、単年度収支でほぼ採算が取れ、資金面で継続できる確信を得たそうです。

なお、詳しい報告はフェスタ実行委員会発行の別紙「こまえ平和フェスタ 2018 を終えて」をご覧ください。



戦争体験のお話
寺尾浩次さん



狛江市平和都市宣言朗読



パネルディスカッション
「平和ってなあに～コスタリカから学べることは～」

秋の学習会

にいらしてください

進む政治の私物化 瓦解する官僚たち

ーメディアと日本の危機ー



東京新聞記者
望月衣壘子さんが
狛江に来ます！

会場：狛江市民センター
2階 第4会議室

参加費 500円

(学生・障がい者は無料)

12月2日(日) 14時～16時30分

望月さんの学習会が楽しみ！

望月衣塑子著「新聞記者」を読んで

桑野道夫（西野川在住）

「菅長官の定例会見の映像をチェックしてみた。・・・思わず拍子抜けしてしまった。・・・表情を変えずに『ご指摘には当たらない』『問題ないと思われます。』と、(菅長官に)返されて、記者たちは質問を重ねない。・・・静かな質疑応答の末に、10分ほどで終わるのが常態化している・・・」(『新聞記者』より) ことを知った望月さんは、社会部所属にもかかわらず菅長官の定例会見に出席したい旨を政治部長に告げOKをもらった。そして会見出席初日から、望月さん一人で10分以上の質疑をした。ある時は「同じ趣旨の質問を繰り返すな」という事務方の注意に対し「きちんとした回答をいただけていると思わないので、繰り返し聞いています。・・・」と、食い下がる。

我々一般国民は、自らで情報を得たり、質問したりする機会は与えられていない。だから国民は情報を、報道機関を通じて直接的または間接的に金を出して入手している。報道機関の記者は自らの仕事として、取材し記事にして、いろいろな媒体で流す。だから、記者が権力におもねり、忖度をして情報を得ても、それは権力に都合のいい情報で、それを流しても記者の存在意義を全うしたとは言えない。だが、望月さんは、そんな記者たちが権力者とシャンシャン会見をしているところに名乗り出て、自らの取材から生まれた疑問やおかしかったことを質問し迫及している。

権力者からの圧力やいやがらせ、他の記者たちからのバッシングにもひるまずにいる勇氣こそ、望月さんの記者魂である。

望月衣塑子さんと考えたい

平井里美（東野川在住）

近年、日本だけでなく世界中でハラスメントの問題が浮上し、国際政治の舞台では首脳同士がマウンティング*。メディアやネット上での一方的な攻撃、政治においては黒いものも白になってしまう。そんな今の世の中を何とかして変えたいと思っています。いつか来

た道を歩まないために、何か行動しなければと思っています。

「権力」の魔力、「権力者に近い」という快感は想像できます。「成果物」を手に入れるために駆け引きをしたり、気に入られようとしていたり、忖度をする。それは政治の世界だけでなく、私たちの暮らしや市民運動においても同じだと思います。私も望月衣塑子さんと同じ2人の子どもの親です。子どもたちに強権的な態度で臨んでいないか、酔っ払って寝落ちしている夫への態度は・・・ 当たり前前の日常、誰かと当たり前に対等であることはとてもムズカシイのです。

自分自身も含め権力の横暴・暴走を許さないために、私たち一人ひとりに何ができるのか、望月衣塑子さんと一緒に考えたいです。12月2日狛江での学習会をとっても楽しみにしています。

*註 mounting : 相手を威圧して自分の優位性を示し、格付けをしようとする事。

近年広く使われるようになってきた。

『権力と新聞の大問題』はこんな本

小俣三郎（岩戸南在住）

「日本の新聞は記者クラブという『当局と記者が、いい関係を保って情報収集するシステム』の下で作られている。記者が当局の機嫌を損ねないように忖度をして記事を書く。記者会見でも、当局にとって都合の悪い質問を積極的にぶつける人はあまりいない。ところが、望月さんは官邸に乗り込み、官房長官に質問を突きつけて、強い力を持った権力者を恐れることなく立ち向かっていく。本当のジャーナリストの姿を私たちにを見せてくれている。」

これは共著者のマーティン・ファクラーさんが「おわりに」に寄せられた文の一部である。望月さんの本領を端的に言い表している。だが、この勇氣ある行動の陰には大変な軋轢があったことは簡単に推察できる。その具体的な様子が本書に詳しい。

投稿

父の姿を追って「戦場体験者と出会える茶話会」(主催：戦場体験放映保存会)へ

中和泉 小川 (昭和 24 年生れ)

・私の母の空襲体験—神田で焼け出され6か月の乳児を負ひ、3歳の幼児の手を引いて炎の中を逃げ惑った。空からは焼夷弾が落ちてくる。「コワイんだよオオ」。→夫の実家へ居候した。

・母から聞いた、父のフィリピンでの戦場体験上陸するとすぐ山へ逃げ込む負け戦だった。→体の弱い者から行軍から脱落していく。→山奥への行軍の道端に歩けなくなった兵隊、その前を「迎えに来るからな」と、決して迎えに戻れるはずないと分かっているながら声を掛け通り過ぎる。→食べる物がなく、余程土民になろうかと思っただが、3歳の息子を思ってとどまった。→復員後マラリアが出て体が震え子供達が布団に乗って抑えた。

私は今迄戦争文学や TV ドキュメントを気にしてきた。母から聞いた父の戦場の断片だけではイメージできずに来た。

昨年、この「戦争体験者と出会える茶話会」へ行った。(中国歩兵を聞いた。)そして今年は3日間通って7人の話を聞いた。フィリピンへ征った93歳の話は2回聞き、これでやっと父のジャングル逃亡生活に触れた感じがした。今まで戦争と言えば引き揚げ・空襲ばかりで戦場が掴めずモヤモヤした感じでした。他に、ニューギニア(99歳)インドシナ衛生兵(95歳)シベリア抑留(93歳)。引き揚げ——ソ連兵や満人に身ぐるみはがされ(当時8歳)、朝鮮から(当時中1)、葛根廟を生き残る(当時10歳)。テニアン島内を隠れ惑った(当時15歳)話を聞いた。そして父が戦死した年配の女性や若い人からの感想や質問に補足しながら答えていた。

隼パイロット、回天搭乗員、輸送艦、特攻機整備・・・は来年聞きに行こう。高齢の元兵士のお元気を願ってます。直接聞けるのもあと僅か。この会は毎年秋開いています。(付、新宿の平和祈念展示資料館の語り部は抑留・引揚が多い感じです。)

尚、保阪正康『戦場体験者—沈黙の記録』(2015年、筑摩書房)には、日本で封じられた証言、戦友会・・・についても述べていて、氏は「何としても語り継がねばとまとめた史実を収めた」と。

サイレントスタンディング 10月3日行いました



8月、9月は猛暑を避けて夕方にスタンディングしましたが、10月はやっと涼しくなったので定例の午後1時~2時に行いました。

沖縄県知事選で玉城デニーさんが当選した直後でしたので、久々に明るい気持ちで立つことが出来ました。

Standing に併せて呼びかけた 3000 万署名は 14 筆も集まりました!

「新年お茶会」で たまには ゆったりお喋りしませんか

成人式に参加する若者たちにチラシを配った後、市民センター辺りで「新年お茶会」をしましょう!

去年は、Standing などでご一緒している方や新しく若い女性も参加して 12 名で楽しく過ごしました。幼子 2 人がはしゃぎ回る声も加わって、ほっこりした和みのひとときを持つことが出来ました。

今年も、皆で茶菓などを持ち寄り、美味しくいただきながら、「平和憲法を広める狛江連絡会」「こまえ九条の会」との関りや、今の世の中のことなどを自由にお喋りしませんか。

日時：1月14日(成人の日) 午後3時~
場所：未定(決まり次第ご連絡します。または当日狛江駅前で合流してご一緒に行きましょう。)

会費：なし(何か1品お持ちください。)

集会などのご案内

安倍9条改憲 NO! 辺野古新基地建設 は断念を! 安倍政権退陣! 10.19 国会 議員会館前行動

日時: 10月19日(金) 18:30~
場所: 衆議院第2議員会館前~国会図書館前
共催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり
行動実行委員会
安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション

第128回市民憲法講座

日時: 2018年10月20日(土) 18:30 開始
会場: 文京シビック
参加費: 800円
主催◆許すな! 憲法改悪・市民連絡会
テーマ: 改めて実感するジェンダーギャップ
指数114位の日本
~医学部入試差別や政治家の暴言な
どを通して~
お話: 宮子あずさ さん
(看護師・著述業)

安倍政権は「女性が輝く社会」などを政策の
キーワードに掲げています。しかし財務省官
僚によるセクシャルハラスメントやそれをか
ばう政治家の発言、東京医科大学における女
子受験者の一律減点問題、LGBTに対するバ

ッシングなど、日本社会にはまだ厳然として
女性やマイノリティへの差別が存在している
ことが露わになっています。「#Me Too」に見
られるように女性が声を上げる運動が世界的
に広がっている中、私たちはどのようにして
日本社会を変えていくのかをともに考えたい
と思います。

止めよう! 改憲発議ーこの憲法で未来 をつくる 11・3 国会前大行動ー

日時: 11月3日(土) 14:00~15:30 (13:30
~プレ企画)
テーマ: ウソだらけの安倍政治を変えよう!
辺野古新基地建設を止めよう!
会場: 国会正門前ステージ・北庭・南庭・公
園内・並木通・図書館前
内容: 開会挨拶 政党挨拶 各分野からの発言
行動提起
主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり
行動実行委員会 (略称;「総がかり行動
実行委員会」)
連絡先: 戦争をさせない1000人委員会
解釈で憲法9条を壊すな! 実行委員会
戦争する国づくりストップ! 憲法を守
り・いかす共同センター

事務局より

安倍改憲 NO!3000万人署名提出

皆様から頂いた署名は「戦争なんてイヤだ! 狛江市民実行委員会」を通じて「全国市民アクション」に提出しました。「戦争なんてイヤだ! 狛江市民実行委員会」としては(未集計分を含めると)5000筆ほど集まったそうです。「全国市民アクション」では第5次集約を11月3日と定めて、一層の取り組みを呼びかけています。

投稿歓迎

いつもご『ニュースレター』をお読みいただき有難うございます。『ニュースレター』はどうしても事務局からの情報発信が多くなってしまっていますが、会員の皆様からのご意見もお寄せ頂いて、お互いの交流を進めたいと考えております。投稿をお待ちしております。

拡大世話人会においでください

狛江市民センターで10月18日(木)は第4会議室、11月15日(木)は第2会議室で行います。